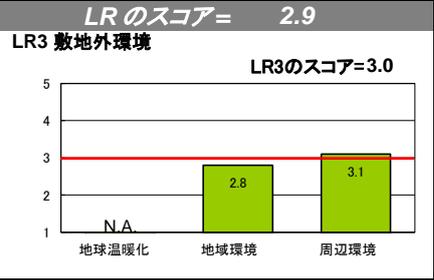
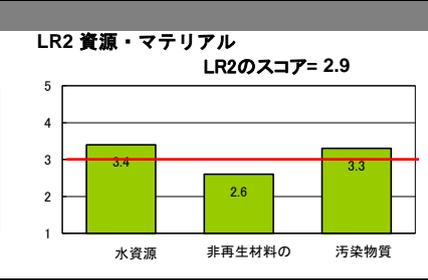
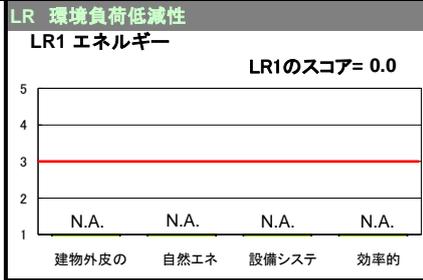
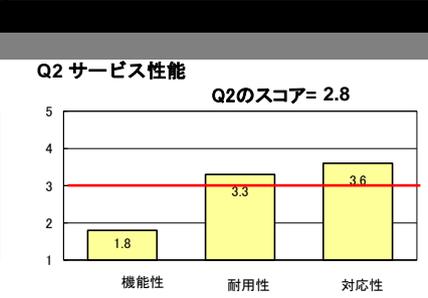
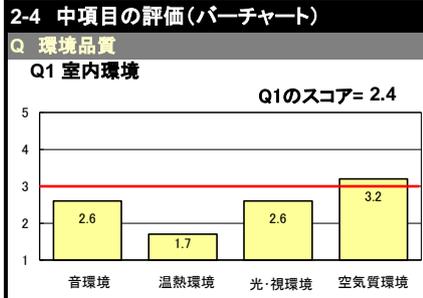
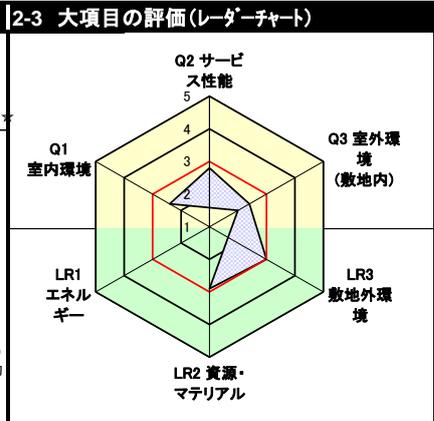
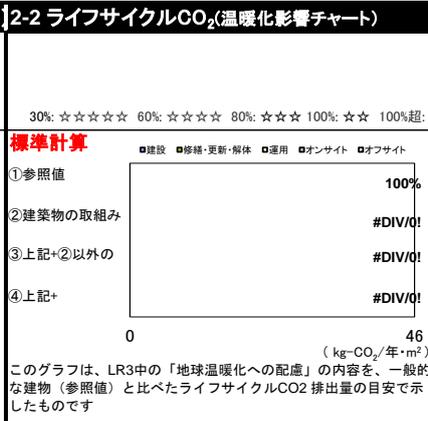
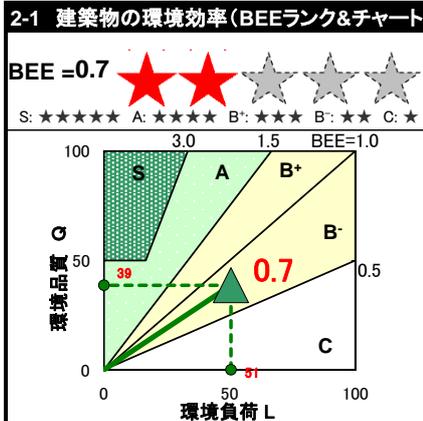


| 1-1 建物概要 |                      |
|----------|----------------------|
| 建物名称     | 厚木配送センターA棟           |
| 建設地      | 厚木市金田字上ノ原118番1       |
| 用途地域     | 準工業地域,防火指定なし         |
| 地域区分     | 6地域                  |
| 建物用途     | 工場                   |
| 竣工年      | 2020年10月 予定          |
| 敷地面積     | 5,089 m <sup>2</sup> |
| 建築面積     | 2,569 m <sup>2</sup> |
| 延床面積     | 5,306 m <sup>2</sup> |

|        |                 |
|--------|-----------------|
| 階数     | 地上3F            |
| 構造     | S造              |
| 平均居住人員 | 40 人            |
| 年間使用時間 | 3,312 時間/年(想定値) |
| 評価の段階  | 実施設計段階評価        |
| 評価の実施日 | 2020年2月27日      |
| 作成者    | 株式会社棍建築設計事務所    |
| 確認日    | 2020年2月27日      |
| 確認者    | 株式会社棍建築設計事務所    |



### 3 設計上の配慮事項

| 総合                                     | その他  |
|--|--|
| リサイクル材・節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。 |  |
| Q1 室内環境<br>・全館禁煙とし、空気質環境の向上に配慮している。    | Q2 サービス性能<br>・耐用年数の長い材料を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。                                |
| LR1 エネルギー<br>・特になし                     | LR2 資源・マテリアル<br>・節水型機器の採用により、水資源保護に配慮している。<br>・GWP値の低い断熱材を使用し、フロンの使用を回避している。 |
|  | LR3 敷地外環境<br>・光害対策ガイドラインチェックリストの一部を満足し、敷地外環境に配慮している。                         |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される